

# 学校支援活動事業訪問

## 福島市訪問【福島市立平石小学校】

訪問日：平成29年10月28日（土）8：30～11：30

場所：福島市立平石小学校

内容：5・6年「平石フィールドワーク」での学習支援ボランティア

平石地区の歴史や由来について学ぶフィールドワークに、福島市信夫地区史跡保存会副会長の丹治弘治氏が学習ボランティアとして支援を行いました。また、2名の保護者の方が子どもたちと一緒に参加しました。

教室で、丹治氏が自作資料をもとに、平石地区の歴史や由来について写真や伝説を交えながら説明を行いました。子どもたちは、興味をもって聞き入り、フィールドワークへの意欲を高めていました。

次のフィールドワークでは、地区内に出て、石碑の道標や供養塔など見て回りました。子どもたちは、石碑に刻まれた文字を実際に見たり触ったりしながら、丹治氏の説明通りになっていることに驚きの声を上げていました。また、地名の由来になった場所も自分の目で確かめ、自分たちの地域への理解を深めていました。

教室に戻った子どもたちは、丹治氏に質問をしたり授業の感想を述べたりしながら、学習のまとめを行いました。

### 児童の声

地域を見て回って、平石っていい所、素晴らしい所だと思った。

昔の人はあんなに大きな石を運んで、すごいと思った。他の場所も探検したい。



### 保護者の感想

大人のわたしたちも、地域について初めて知ったことがたくさんありました。子どもたち以上に大人の方が楽しめました。今日のような実体験を伴った学習がもっとできたらいいと思います。

### ボランティアの思い

地域を実際に見て回ったことで、平石を愛する心につながってくれればいいと思います。自分の目で確かめて、自分で調べることは、子どもたち自身の力になっていくと思います。



教師も「丹治氏のような専門性を持ったボランティアの方にきめ細かな支援をしてもらうことで、学習意欲の高まりや確かな理解が実現される」と感想を述べていました。ボランティアをはじめて行ったという丹治氏は、「私の方こそ、子どもたちに応援してもらって、感謝しています。」と目を細めていました。

こうした学校も地域もメリットのある活動が展開させていることが、福島市の学校支援活動の充実につながっていくと感じました。